

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3664501号
(P3664501)

(45) 発行日 平成17年6月29日(2005.6.29)

(24) 登録日 平成17年4月8日(2005.4.8)

(51) Int. Cl.⁷

F I

G07D 9/00

G07D 9/00 311Z

A45C 1/12

A45C 1/12 P

G06F 17/60

G06F 17/60 234N

請求項の数 1 (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願平6-251774	(73) 特許権者	000005223 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番 1号
(22) 出願日	平成6年10月18日(1994.10.18)	(74) 代理人	100100930 弁理士 長澤 俊一郎
(65) 公開番号	特開平8-115470	(72) 発明者	植松 泰尚 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番 地 富士通株式会社内
(43) 公開日	平成8年5月7日(1996.5.7)		
審査請求日	平成12年9月21日(2000.9.21)		
審判番号	不服2002-10511(P2002-10511/J1)		
審判請求日	平成14年6月12日(2002.6.12)		
		合議体	
		審判長	岡 千代子
		審判官	長浜 義憲
		審判官	井上 哲男

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 預貯金管理システム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

使用者が決定した目標預貯金額と使用者が複数の候補の中から決定した該預貯金の目標となる購入物とを登録する手段と、

上記購入物について上記預貯金の達成度に応じた購入物のイメージを記憶する記憶手段、または、上記登録された目標預貯金額及び購入物と上記預貯金の達成度に応じた購入物のイメージとを受信する通信手段と、

表示手段と、制御部とを備える預貯金管理システムであって、

前記制御部に、上記目標預貯金額と現状預貯金額とを比較する手段と、

前記比較する手段により比較した結果である前記目標預貯金額に対する前記現状預貯金額の達成度に応じて、前記記憶手段から、または前記通信手段を介して、前記目標預貯金額で購入する購入物のイメージについて前記目標預貯金額に対する前記現状預貯金額の達成度に応じたイメージ情報をリードし、前記表示手段に出力する手段とを備える

ことを特徴とする預貯金管理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本発明は預貯金管理システムに関し、詳細には、預金/貯金に対する意欲を啓発することができる預貯金管理システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

近年の商品の多様化、電子機器の高機能化に伴い、両者の融合およびそれらに伴うマンマシンインタフェースの高度化が要求されている。

このため、各種キャッシュディスプレイや電子機器の機能を付加した玩具用貯金箱が提供されているが、更に、高機能・多機能な貯金管理システムが要望されている。

一方、従来の銀行預金システムは、通帳に現状の預金額を記載するのみであり、貯金に対する意欲を啓発する等、預金者に積極的に働きかけることは出来なかった。

また、上記した電子的機能を付加した玩具用貯金箱においても、現金出納部からくりを設けて趣味性を表現する程度であり、貯金に対する意欲を啓発する等、利用者に積極的に働きかけるといふ点では十分なものではなかった。

10

【0003】**【発明が解決しようとする課題】**

以上のように、従来の預貯金システムは、主に預金もしくは貯金の金額を提示するだけであり、目標貯金額に対して現状の預金/貯金額が占める達成状況等の客観データ等を提示する等、利用者の預貯金に対する目標管理意識の向上を意図したものではなかった。

また、預金/貯金額の表示も単に数字等で金額を示すだけであり、預金者の遊び心を引き出して、預金/貯金に対する意識を啓発することもできなかった。

本発明は、上記した従来技術の問題点を考慮してなされたものであって、利用者に目標管理意識を持たせ、預貯金に対する意欲を啓発することができ、また、趣味性、娯楽性をも満足させることができる預貯金管理システムを提供することである。

20

【0004】**【課題を解決するための手段】**

図1は本発明の原理図である。同図において、1は現金を保管する現金スタック部、2は現金出納部、3は入力部、4は出力部、5は制御部、6は預貯金に対する意欲を啓発する啓発情報を記憶した記憶手段、7は外部記憶媒体である。

上記課題を解決するため、本発明の請求項1の発明は、使用者が決定した目標預貯金額と使用者が複数の候補の中から決定した該預貯金の目標となる購入物とを登録する手段と、上記購入物について上記預貯金の達成度に応じた購入物のイメージを記憶する記憶手段、または、上記登録された目標預貯金額及び購入物と上記預貯金の達成度に応じた購入物のイメージとを受信する通信手段と、表示手段と、制御部とを設け、上記制御部に、利用者によって任意に設定された目標預貯金額と現状預貯金額とを比較する手段と、前記比較する手段により比較した結果である前記目標預貯金額に対する前記現状預貯金額の達成度に応じて、上記記憶手段から、または通信手段を介して、前記目標預貯金額で購入する購入物のイメージについて、前記目標預貯金額に対する前記現状預貯金額の達成度を示すイメージ情報をリードし、出力する手段とを設けたものである。

30

【0005】**【作用】**

図1において、まず、利用者は預貯金に対する目標(目標金額、購入物等)を定めて、システムの運用者へ申込み、もしくは、システムに入力しておく。

利用者が現金等を出納すると、制御部5は預貯金残額と上記目標金額を比較し、その目標達成度に応じて、記憶手段から利用者の預貯金に対する啓発情報を得て、出力部4から啓発情報を出力する。

40

例えば、利用者が自動車の購入を目標として預貯金を行っている場合には、預貯金の達成度に応じた自動車のイラスト等(達成度に応じた自動車の部分が表示されたイラスト等)を出力部4から出力する。

本発明の請求項1の発明においては、上記のように、目標預貯金額に対する前記現状預貯金額の達成度を示すイメージ情報をリードし、表示しているので、利用者の預貯金に対する意識を啓発し、預貯金に対する目標管理意識の向上を図ることができる。

【0006】**【実施例】**

50

図2は本発明の第1の実施例のシステム構成を示す図であり、同図は、銀行預金システムにおけるキャッシュディスペンサー（以下CDという）を示している。

同図において、11は紙幣、硬貨等の入出力を行う現金出納部、12はCRT等のディスプレイから構成される表示部であり、図形、文章、動画等を表示する。13はデータ入力部、14は外部記憶装置であり、本システムを動作させるプログラムおよびデータが格納される。

15は上記現金出納部、表示部等を制御する制御部、16は紙幣、硬貨等を保管する現金スタック、17はホスト計算機や他装置との情報伝送制御を行う通信部、18はホスト計算機である。

【0007】

図3は第1の実施例のCDの外観構成を示す図であり、11は現金出納部、12、13は表示/データ入力部であり、例えば、CRT等の表示装置とタッチパネル等から構成される。また、同図に示すようにCDは回線を介してホスト計算機18に接続され、上記回線を介して、後述するように預貯金データを送受信するとともに、イメージ情報を受信する。

【0008】

図4は使用者の操作とそれに対する銀行側システムの処理内容を示すフローチャート、図5(a)(b)、図6は表示部12への表示処理を示すフローチャート、図7～図12は表示部12の表示内容を示す図であり、図4～図12を参照して本実施例を説明する。

まず、使用者が預金の目標を決定する。目標としては、例えば、自動車の購入、海外旅行、住宅の購入等があり、使用者は目標が定まると、購入物、目標金額等を図4に示すように金融機関に申し込む。

例えば、使用者がAという自動車を購入しようとして、その旨を金融機関に申し込むと、金融機関はA車の金額（例えば、300万円）等のデータをホスト計算機18に口座番号と対応させて登録し、通帳を発行する。

なお、上記申込みは窓口で申し込むこともできるし、あるいは、CD等の端末が入力することもできる。

【0009】

通帳を受け取った使用者が、CDを使用して預金しようとする時、図2に示したCDの制御部15は通信部17を介してホスト計算機18から、イラストデータや現預金額等のデータをリードする。

そして、表示部12に現在の預金額、目標額までの金額等をイラスト、動画、音声等により表示する。

そして、使用者が入金または引き出しを行うと、制御部15は貯蓄額と目標額を比較して、目標額とそれに対する貯蓄額の割合・差額等をイラスト、動画、イラスト写真データ、音声等により表示部12に表示する。これにより、使用者は目標達成度を知ることができ、使用者の貯蓄意欲が再啓発される。

次に、目標が自動車の購入、旅行、住宅の購入のそれぞれの場合について、表示部12の表示内容、および、銀行システムにおける処理について説明する。

【0010】

図5(a)は目標が自動車の購入の場合の処理を示すフローチャート、図7、図8は表示部12に表示されるイラストの一例を示す図である。

使用者が通帳をCDに挿入すると、図5(a)のステップS1において、口座番号、暗証番号、残高を照会する。使用者の目標が自動車の購入である場合、ステップS2において、購入予定自動車のイラストデータをCDに転送する。

上記データはCDの通信部で受信され、制御部15は受信したイラストデータを表示部12に表示する。

【0011】

図7(a)は上記のようにして表示される表示画面の一例を示す図であり、表示部12には、まず、同図に示すように、自動車の全体像を表示するとともに、その目標額が300

10

20

30

40

50

万円であることを表示する。

続いて、ステップS4において、購入予定自動車の組み立て動画データを転送する。

ステップS5において入金額と残高計算を行い、ステップS6、ステップ7において、入金額と目標・残高に応じて表示部12に、例えば図7(b)、図8に示すように、最初に表示された自動車の全体像とは異なった色あるいは表示態様で、順次、自動車の各部分が追加されていくイラストを表示する。

そして、ステップS8において、預金残高分組み立てたところで動画を停止する。

【0012】

例えば、その時の入金額が3万円であり、97万3千円の預金残高の場合には、図7(b)、図8に示すように、現在の預金残高が97万3千円であり、目標まであと202万7千円である旨が表示されるとともに、イラストでは、自動車のミラーとハンドルが追加されたところで動画が停止する。

10

図5(b)は目標が旅行の場合の処理を示すフローチャート、図9、図10はその場合に表示部12に表示されるイラストの一例を示す図である。

使用者が通帳をCDに挿入すると、前記と同様、図5(b)のステップS1において、口座番号、暗証番号、残高を照会する。使用者の目標が旅行である場合、ステップS2において、旅行地のイラスト写真データをメモリリードする。

そして、ステップS3において上記写真データは、図9(a)に示すように、表示部12に表示される。

【0013】

20

続いて、ステップS4において、旅行毎の動画、音声、写真データを転送し、ステップS5において入金額と残高計算を行う。次いで、ステップS6、ステップ7において、入金額と目標・残高に応じて表示部12に、例えば図9(b)、図10に示すように、旅行先に応じた地図と旅行の行程等の動画、音声、写真データを表示する。

そして、ステップS8において、現在の預金残高で到達できる地点を表示したところで停止する。

例えば、目標がオーストラリア旅行で目標額が30万円、その時の入金額が1万円であり、7万3千円の預金残高の場合には、図9(b)のように日本が飛行機が発発するところから、図10に示すように、現在の預金残高の7万3千円で到達できるマレーシアまでが表示される。

30

【0014】

図6は目標が住宅購入の場合の処理を示すフローチャート、図11、図12はその場合に表示部12に表示されるイラストの一例を示す図である。

使用者が通帳をCDに挿入すると、前記と同様、図6のステップS1において、口座番号、暗証番号、残高を照会し、使用者の目標が住宅の購入である場合、ステップS2において、住宅のイラストデータを転送・メモリリードする。

そして、ステップS3において上記イラストデータは、例えば、図11に示すように、表示部12に表示される。

【0015】

続いて、ステップS4において、住宅の建築工程データを転送・メモリリードし、ステップS5において入金額と残高計算を行う。次いで、ステップS6、ステップ7において、入金額と目標・残高に応じて表示部12に、例えば図11(b)、図12に示すように、土地を購入し、家が建築されていく様子が表示される。

40

そして、ステップS8において、現在の預金残高で購入できる部分まで表示したところで停止する。

例えば、目標が一個建て5000万円の住宅購入のための資金1000万円の貯金の場合、図11(b)、図12のように家が建築されていく工程が順次表示され、図12に示すように、現在の預金残高の810万円で建築できる一階部分の外壁まで出来上がったところで動画を停止する。

以上のように、イラスト、動画、音声等により目標達成の度合いを表示しているため、使

50

用者は直観的に目標まであとどの位貯金すればよいか把握することができ、目標達成に意欲を燃やすことができる。

【0016】

図13は本発明の第2の実施例の貯金システムの構成を示す図であり、同図は、個人用の貯金箱におけるシステム構成を示している。

同図において、11は紙幣、硬貨等の入出力を行う現金出納部、12はCRT、液晶等のディスプレイから構成される表示部であり、図形、文章、動画等を表示する。13はデータ入力部、14は外部記憶装置であり、本システムを動作させるプログラムおよびデータが格納され、前記図7～図12に示したイラスト、動画等は外部記憶媒体19から入力することにより、様々な貯金目標に対するメッセージを出力することができる。

10

また、15は上記現金出納部、表示部等を制御する制御部、16は紙幣、硬貨等を保管する現金スタックである。

【0017】

図14は第2の実施例の貯金箱の外観構成を示す図であり、11は現金出納部、12は表示部、13は入力部、16は現金スタック部、19は外部記憶媒体である。

図15は使用者の操作とそれに対する本実施例の貯金システムの処理内容を示すフローチャートであり、同図を参照して本実施例を説明する。

まず、使用者が預金の目標を決定する。目標としては、前記と同様、種々のものを設定することができる。使用者は目標が定まると、購入物、目標金額等に応じた媒体19を貯金箱にセットする。

20

貯金システムは、セットされた媒体19のデータに基づき、前記した図7～図12と同様、目標額等を表示部12にイラスト等で表示する。

使用者が、貯金箱に貯金または引き出しを行うと、制御部15は貯蓄額と目標額を比較して、目標額とそれに対する貯蓄額の割合・差額等をイラスト、動画、イラスト写真データ、音声等により表示部12に表示する。これにより、使用者は目標達成度を知ることができ、使用者の貯蓄意欲が再啓発される。

【0018】

なお、上記実施例においては、イラスト、動画、音声等で目標達成度を知らせる場合について示したが、その他、音楽、体感等で使用者に知らせるなど、視覚、だけでなく物理的動作のあらゆる感覚に働きかける種々の手段を使用することもでき、代行もしくは併用も

30

可能である。また、表示手段としてディスプレイ画面上に表示したり、スピーカから出力する外、イラスト等を印字した紙を出力する等、その他種々の出力形態とすることができる。

【0019】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明においては、預貯金目標額に対する達成度に応じた啓発情報として、目標預貯金額に対する前記現状預貯金額の達成度を示すイメージ情報をリードし、表示したので、預貯金者が現状の預貯金額の目標に対する状況を感覚的かつ具体的に把握することができ、更に、今後の貯金計画に対する意識の向上を図ることができる。また、サブリミナルな面でもヒューマンコミュニケーション・インタフェースの向上に寄与

40

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の原理図である。

【図2】本発明の第1の実施例のシステム構成を示す図である。

【図3】第1の実施例の外観構成を示す図である。

【図4】第1の実施例における利用者の操作とシステムの処理内容を示す図である。

【図5】啓発情報を表示するための処理手順を示す図である。

【図6】啓発情報を表示するための処理手順を示す図である。

【図7】表示部に表示されるイラスト情報の一例を示す図である。

【図8】表示部に表示されるイラスト情報の一例を示す図である。

50

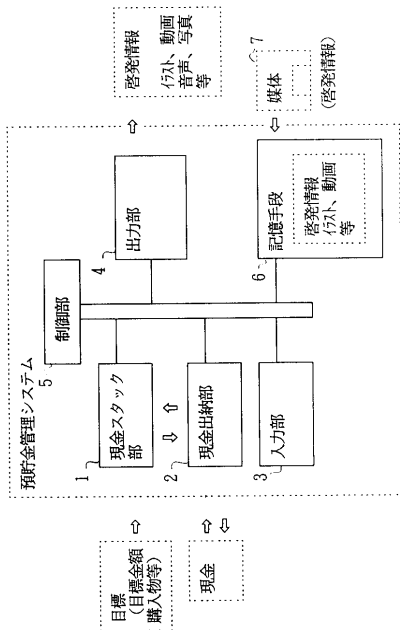
- 【図9】表示部に表示されるイラスト情報の一例を示す図である。
- 【図10】表示部に表示されるイラスト情報の一例を示す図である。
- 【図11】表示部に表示されるイラスト情報の一例を示す図である。
- 【図12】表示部に表示されるイラスト情報の一例を示す図である。
- 【図13】本発明の第2の実施例の貯金システムの構成を示す図である。
- 【図14】本発明の第2の実施例の貯金箱の外観構成を示す図である。
- 【図15】第2の実施例における利用者の操作とシステムの処理内容を示す図である。

【符号の説明】

- | | |
|-------|---------|
| 1, 16 | 現金スタック部 |
| 2, 11 | 現金出納部 |
| 3, 13 | 入力部 |
| 4 | 出力部 |
| 5, 15 | 制御部 |
| 6 | 記憶手段 |
| 7, 19 | 外部記憶媒体 |
| 12 | 表示部 |
| 14 | 外部記憶装置 |
| 17 | 通信部 |
| 18 | ホスト計算機 |

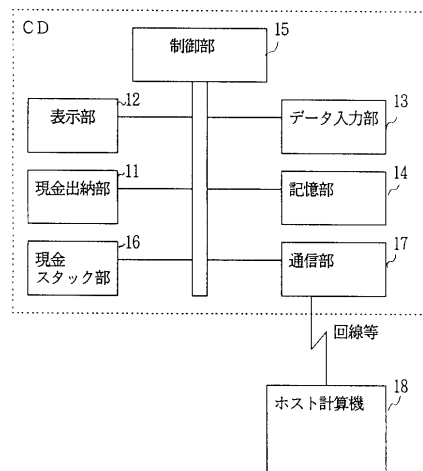
【図1】

本発明の原理図



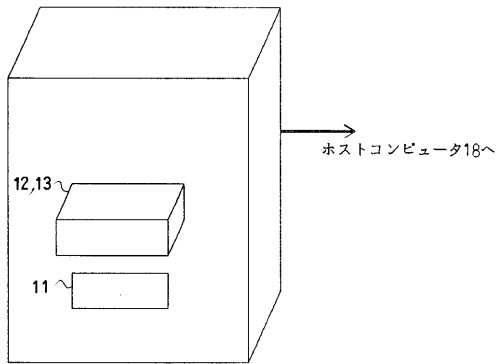
【図2】

本発明の第1の実施例のシステム構成を示す図



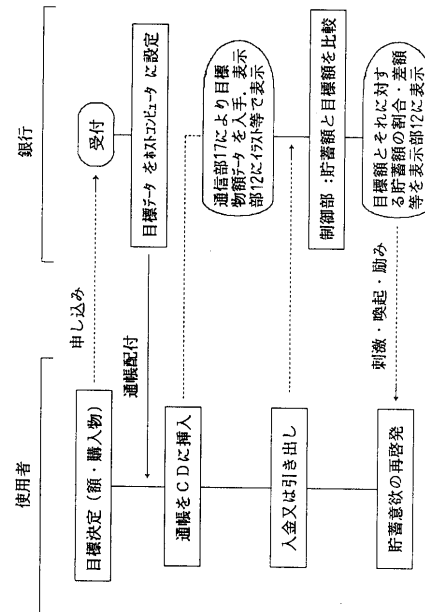
【 図 3 】

第 1 の実施例の外観構成を示す図



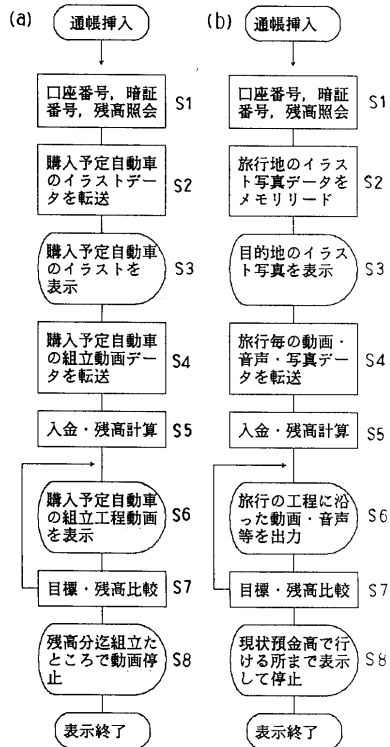
【 図 4 】

第 1 の実施例における利用者の操作とシステムの処理内容を示す図



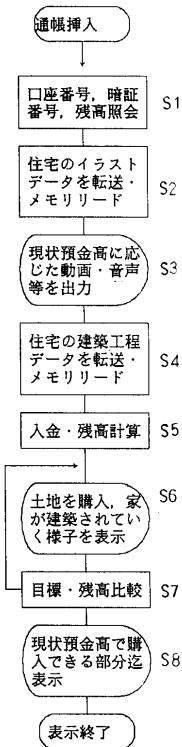
【 図 5 】

啓発情報を表示するための処理手順を示す図



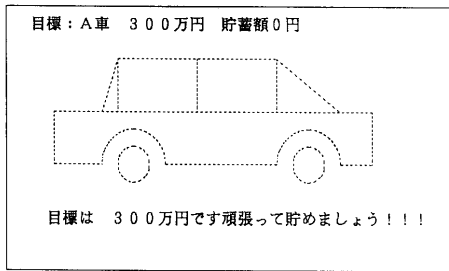
【 図 6 】

啓発情報を表示するための処理手順を示す図

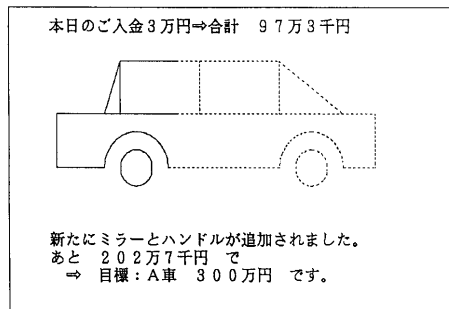


【 図 7 】

表示部に表示されるイラスト情報の一例を示す図
(a)

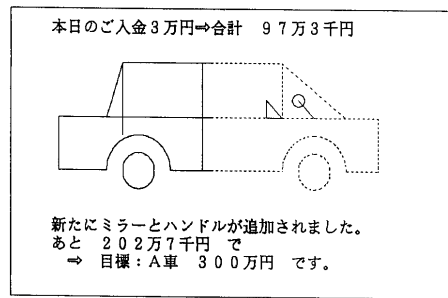


(b)



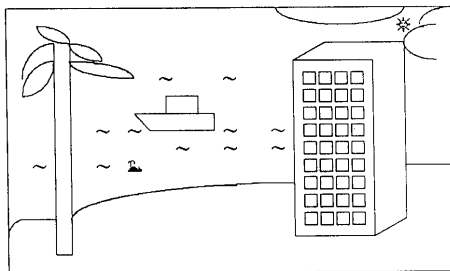
【 図 8 】

表示部に表示されるイラスト情報の一例を示す図



【 図 9 】

表示部に表示されるイラスト情報の一例を示す図
(a)

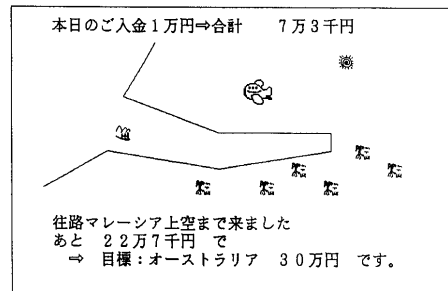


(b)



【 図 10 】

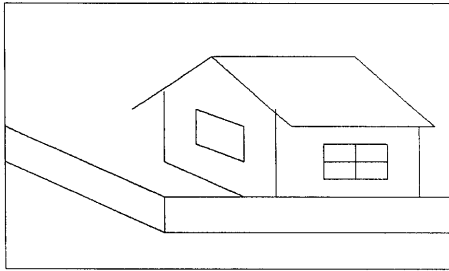
表示部に表示されるイラスト情報の一例を示す図



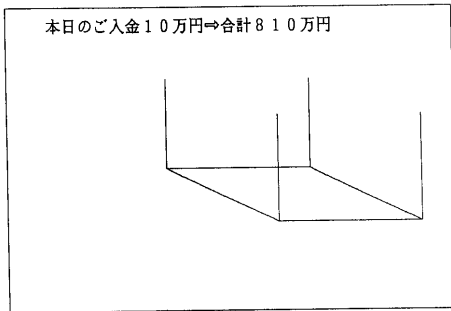
【図 1 1】

表示部に表示されるイラスト情報の一例を示す図

(a)

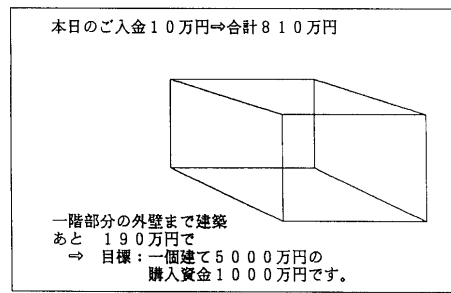


(b)



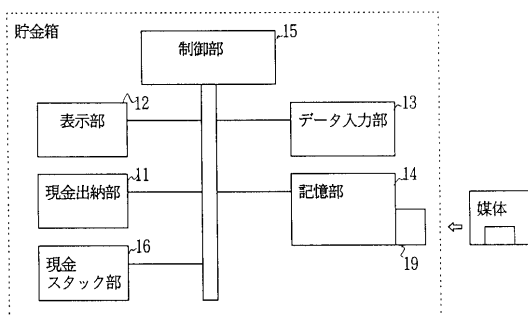
【図 1 2】

表示部に表示されるイラスト情報の一例を示す図



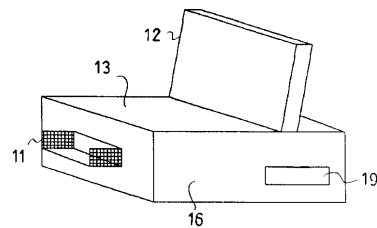
【図 1 3】

本発明の第2の実施例の貯金システムの構成を示す図



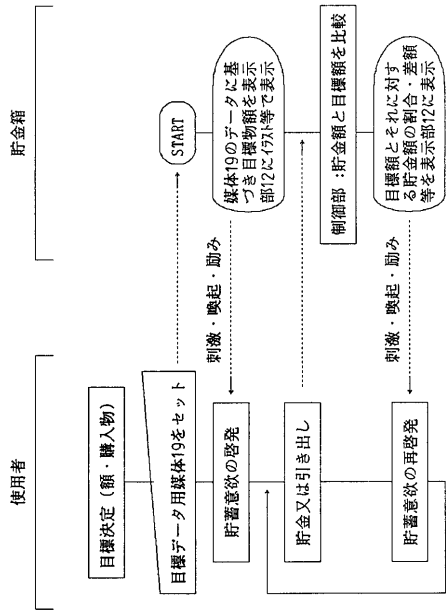
【図 1 4】

本発明の第2の実施例の貯金箱の外観構成を示す図



【 図 1 5 】

第 2 の実施例における利用者の操作とシステムの処理内容を示す図



フロントページの続き

- (56)参考文献 実開平6 - 31521 (JP, U)
実開昭59 - 187863 (JP, U)
特開昭58 - 27509 (JP, A)
実開平6 - 33515 (JP, U)

(58)調査した分野(Int.Cl.⁷, DB名)

G07D9/00
A45C1/00
G07D3/00